

(件名)

「救急搬送及び受入れに関する実施基準」の実施状況

1 「実施基準」の策定

県では、消防機関及び医療機関等から構成される「静岡県メディカルコントロール協議会」(以下「県MC協議会」という。)における調査・検討結果を踏まえ、平成23年3月31日に「静岡県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」(以下「実施基準」という。)を策定、公表し、4月1日から運用を開始した。

2 「実施基準」の概要

(1) 策定にあたっての基本的な考え方

- ア 傷病者の救命を最優先とし、生命の危機を伴う重症、重篤な傷病者等は、従前どおり、三次救急医療機関等により受入れるものとした。
- イ 現状の医療資源を前提に、傷病者の状況に応じた、より円滑で、より適切な搬送受入体制の構築を目指す。

(2) 「実施基準」に定めた事項

項 目	内 容
1 傷病者の状況に応じた医療機関リスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷病者の状況を以下の15症状に分類 <ul style="list-style-type: none"> ①重篤、②脳卒中疑い、③胸痛、④外傷、⑤腹痛・その他内因性疑い、⑥妊産婦、⑦小児(15歳未満)、⑧開放骨折、⑨吐下血、⑩熱傷、⑪減圧症、⑫透析、⑬中毒(アルコール、薬物、その他)、⑭精神疾患(身体合併症を含む)、⑮その他救急 ・ 搬送の現状調査結果に基づき、上記15分類(症状)に応じた医療機関をリスト化
2 傷病者の観察基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷病者の状況に応じて「意識レベル」、「脈拍及び血圧」等を観察 例：「脳卒中疑い」の場合には、傷病者の運動麻痺の程度を観察
3 搬送先医療機関の選定基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷病者の重症度、緊急度を考慮して「地域の実情に応じた医療機関」、「最も搬送時間が短い医療機関」、「かかりつけ医療機関」を選定 ・ 重症以上と判断した場合には救命救急センター等を選定
4 医療機関に傷病者の状況を伝達する基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「年齢」、「観察結果」、「応急措置内容」、「医療機関到着予定時刻」等を伝達
5 受入医療機関確保基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関への受入照会時間が30分を超えた場合又は照会回数が10回を超えた場合は、三次救急医療機関、地域の基幹病院が受入れに努める。

3 「実施基準」に基づく搬送受入状況の検証

- (1) 「静岡県MC協議会」において、搬送受入状況を調査・検証し、県は、その結果を踏まえ、必要に応じ見直しを行う。
- (2) 専門部会である「MC推進作業部会」が半期毎に次の調査を行う。
 - ア 医療機関選定に要した時間別の搬送件数及び医療機関への照会回数別の搬送件数
 - イ 照会時間30分以上、又は照会回数6回以上の搬送事例について、各地域MC協議会における検討結果

4 調査・検証の経過

(1) 運用状況調査(期間：令和4年7月1日～令和5年6月30日、各消防本部へ照会)

ア 調査結果の概要

① 医療機関選定に要する時間別及び医療機関への照会回数別の搬送件数

○期間中に156,937件(対前年同期比+16,685件)の搬送事案があり、うち

「その他救急」が80,158件(全体の51.08% 対前年同期比+13,436件)、

「腹痛・その他内因性疑い」が38,367件(全体の24.45% 対前年同期比+846件)、

「外傷」18,489件(全体の11.78% 対前年同期比+647件)であった。

○照会開始から搬送先が決定されるまでの時間

区分	件数	対前年同期比	構成比
30分未満	155,592	+15,956	99.14%
30分以上	1,345	+729	0.86%
計	156,937	+16,685	100%

○搬送先が決定されるまでの照会回数

区分	件数	対前年同期比	構成比
5回以下	155,633	+15,849	99.17%
6回以上	1,304	+836	0.83%
計	156,937	+16,685	100%

② 照会時間30分以上、又は照会回数6回以上の搬送事例について、各地域MC協議会における検証結果

○検証実施事案：972件

(うち、県MC推進作業部会で再検証が必要とされた事案：0件)

<搬送事案の状況>

分類	搬送件数	対前年同期比	構成比
重篤	4,440	106	2.83%
脳卒中疑い	6,045	139	3.85%
胸痛	3,750	327	2.39%
外傷	18,489	647	11.78%
腹痛・その他内因性疑い	38,367	846	24.45%
妊産婦	322	57	0.21%
小児	2,937	1,084	1.87%
開放骨折	69	13	0.04%
吐下血	895	-49	0.57%
熱傷	117	-26	0.07%
減圧症	13	1	0.01%
透析	26	5	0.02%
中毒(アルコールなど)	785	155	0.50%
精神疾患	524	-56	0.33%
その他救急	80,158	13,436	51.08%
計	156,937	16,685	100.00%

<各地域の状況>

※地域MC協議会で検証していないものも含む

地域MC協議会名	搬送件数 (対前年同期比)	うち30分以上 (対前年同期比)	うち6回以上 (対前年同期比)	再検証が必要と されたもの
賀茂地域	3,847 (+409)	21 (+8)	9 (+1)	0
熱海・伊東地域	7,470 (+970)	1 (-5)	1 (0)	0
駿東田方地域	24,857 (+2,244)	148 (+4)	86 (+7)	0
富士地域	14,811 (+3,067)	486 (+203)	227 (+102)	0
静岡地域	34,869 (+3,696)	60 (+24)	45 (+30)	0
志太榛原地域	17,556 (+2,088)	21 (+7)	4 (-4)	0
中東遠地域	14,975 (+1,779)	86 (+46)	124 (+70)	0
西部地域	38,552 (+2,432)	522 (+442)	808 (+630)	0
計	156,937 (+16,685)	1,345 (+729)	1,304 (+836)	0 (0)

(2) 県MC推進作業部会における検討

○検証対象となった事案：0件

(3) 検証等の実施状況

年度	県MC協議会	県MC推進作業部会	その他
H23	平成24年3月13日	3回(11、1、3月)	4月1日～運用開始 各地域MC協議会で検討
H24	平成25年1月22日	3回(9、12、1月)	4月1日 医療機関リスト更新
H25	平成26年2月4日	3回(9、12、2月)	同上
H26	平成27年1月29日	2回(7、12月)	同上
H27	平成28年2月5日	2回(7、12月)	同上
H28	平成29年1月26日	2回(7、12月)	同上
H29	平成30年1月17日	2回(8、11月)	同上
H30	平成31年1月31日	2回(8、12月)	同上
R元	令和2年2月13日	2回(8、11月)	同上
R2	令和3年2月9日	2回(9、11月)	同上
R3	令和4年2月8日	2回(9、2月)	同上
R4	令和5年2月14日	2回(9、12月)	同上
R5	令和6年2月7日	2回(9、11月)	同上

5 運用実態を踏まえた改善の取組

令和4年7月から令和5年6月までの実施状況においては、昨年同時期と比較し、搬送件数の全体数が増加している。また、「照会時間30分以上」「照会回数6回以上」の事案については増加しているが、再検証を要する事案や基準の見直しに関する意見はなく、実施基準の柔軟な運用が実施されていると考える。

今後も引き続き搬送受入状況を調査・検証し、円滑な運用に繋げていくこととしたい。

静岡県メディカルコントロール協議会作業部会の開催状況等

1 静岡県メディカルコントロール協議会作業部会の開催状況

日時	主要な議事	合意事項等
第1回 R5.9.7	○ 部会長の選出	⇒早川委員(聖隷三方原病院)を選出
	○ 実施基準の運用状況の検証 令和4年7月から12月までの状況について事務局より報告	
	○ 「傷病者の搬送及び受け入れに関する実施基準」に係る医療機関リストについて 地域MCからの意見等をもとに修正	⇒リスト修正について了承
	○ 指導救命士の認定 各消防本部、地域MC協議会から推薦された5人の経歴書等を確認	⇒特に支障はなく、県MC会長へ報告後に承認
第2回 R5.11.16	○ 実施基準の運用状況の検証 令和5年1月から6月までの状況について事務局より報告	
	○ 指導救命士の認定 各消防本部、地域MC協議会から推薦された4人の経歴書等を確認	⇒特に支障はなく、県MC会長へ報告後に承認
	○ 心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応	⇒志太地域MC管内で令和5年11月から取組開始
第3回 R6.1.25	○ 指導救命士の認定 各消防本部、地域MC協議会から推薦された2人の経歴書等を確認	⇒特に支障はなく、県MC会長へ報告後に承認

2 地域MC協議会の活動状況(見込含む)

(1) 協議会等開催状況

地域MC名	協議会	作業部会・事後検証会	その他
賀 茂	1回(9月)	事後検証会2回(12、3月)	
熱海・伊東	1回(7月)	事後検証会2回(7、2月)	
駿 東 田 方	1回(6月)	運営委員会1回(2月) 研修部会2回(5、3月) 事後検証会3回 (8、12、3月)	通信指令担当者会議2回(12,3月) 救急隊員等研修会3回(8,11,1月) 気管挿管再教育研修会2回(9月)
富 士	3回 (8、10、2月)	作業部会4回(4,7,10,1月) 事後検証会4回(6,9,12,2月)	プロトコール運用講習会4回 (4,7,10,1月) 作業部会研修会4回(6、8、11月)
静 岡	3回 (6,12,3月)	検証専門部会7回 (5,6,7,8,10,12,2月) 推進専門部会4回(4,6,9,2月) 教育専門部会5回 (8,9,10,2,3月)	症例検討会2回(9,12月)
志 太 榛 原	2回 (8,2月)	検討委員会4回 (6,9,12,3月) 病院毎の事後検証会を複数回実施	ワーキンググループ検討会2回 (10,11月)
中 東 遠	2回 (6,3月)	事後検証会1回(3月) 作業部会2回(5,3月)	担当者会議1回(7月)
西 部	1回(4月)	推進者会議5回 (5,7,10,1,3月) 事後検証会4回 (6,9,11,2月)	JPTEC 更新コース4回(6,10,2,3月) 指導救命士検討会2回(8、2月) 静岡県西部地区救急技術研修会、 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管 挿管講習(12月)、 MCLS マネージメントコース、 周産期救急に関する講習1回(3月)

(2) 検討事項等

ア 協議会

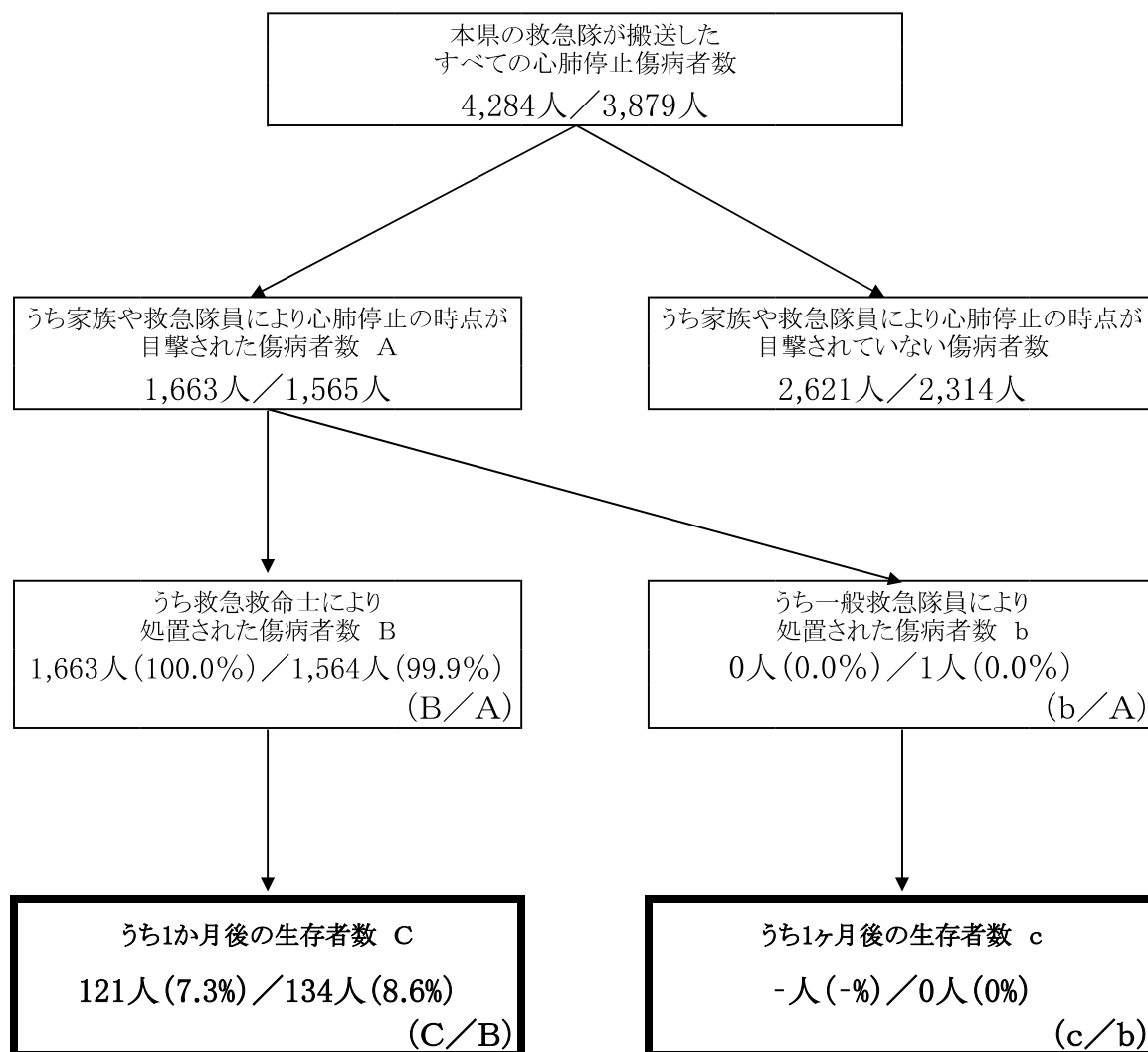
- ・ 事業計画策定、進行管理、実習病院の確保 等

イ 作業部会・事後検証会

- ・ 事後検証票による症例検討、症例検討結果のフィードバック
- ・ 各種講習会等の企画、実施

3 救急救命士活動状況

左欄(令和4年1月～12月)
右欄(令和3年1月～12月)



処置／実施件数	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
除 細 動	325	372	366	342	299	329	349	-
気 管 挿 管	138	169	195	194	205	279	199	187
薬 剤 投 与	872	880	1,365	1,553	1,547	1,703	1,825	1,861

気管挿管及び薬剤投与等講習・実習の実施状況等

1 気管挿管

(1) 消防学校等における講習の実施状況（講習修了者数）（単位：人）

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	合計
61	38	10	51	54	42	18	12	286

* 県消防学校での追加講習は、平成 23 年度をもって終了

* 平成 16 年 4 月 1 日以降に実施の救急救命士試験合格者は、気管挿管に係る追加講習を受講する必要なし

(2) 病院実習の実施状況（実習修了者）（単位：人）

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
17	21	35	42	41	35	47	51	49	48
H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5
46	42	40	52	47	50	24	31	40	32
合計									
790									

* 令和 5 年末までの実績

* 令和 3 年度及び令和 4 年度の認定証交付状況は資料 3-2 のとおり

(3) 運用実績

① 運用隊数・運用人数 184 隊 556 名

② 気管挿管症例数（単位：症例）

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
21	60	140	126	129	127	148	147	159	141
H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5
165	175	138	169	195	194	205	279	199	187
合計									
3,104									

* 令和 5 年末までの実績

2 薬剤投与

(1) 消防学校等における講習の実施状況（講習修了者数）（単位：人）

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	合計
44	62	61	68	62	40	27	364

* 県消防学校での追加講習は、平成 23 年度をもって終了

* 平成 18 年 4 月 1 日以降に実施の救急救命士試験合格者は、薬剤投与に係る追加講習及び実習を受講する必要なし

(2) 病院実習の実施状況（実習修了者）（単位：人）

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
25	63	74	75	59	44	30	2	1	1
H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	374

- * 令和5年末までの実績
- * 上記のほか、特例での認定者3人（平成26年度2人、平成28年度1人）

(3) 運用実績

- ① 運用隊数・運用人数 202 隊 841 名
- ② 薬剤投与症例数 (単位：症例)

H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
60	176	304	471	552	642	799	763	771	792
H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	合計	
872	880	1,365	1,553	1,547	1,703	1,825	1,861	16,936	

- * 令和5年末までの実績

3 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管

(1) 消防学校における講習の実施状況（講習修了者数）（単位：人）

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	合計	
56	81	85	81	83	82	72	82	622	

- * 県消防学校での追加講習は、令和2年度をもって終了
- * 平成27年度以降に実施の救急救命士試験合格者は、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管に係る追加講習を受講する必要なし

(2) 病院実習の実施状況

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
18	42	53	63	75	90	77	44	38	43
R5	合計								
34	577								

- * 令和5年末までの実績
- * 令和4年度及び令和5年度の認定証交付状況は資料3-2のとおり

(3) 運用実績

- ① 運用隊数・運用人数 177 隊 457 名
- ② 気管挿管症例数

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
4	26	26	43	43	51	54	84	141	152
R5	合計								
108	732								

- * 令和5年末までの実績

4 静脈路確保及びブドウ糖溶液投与等

(1) 認定の状況

H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	合計	
1	101	98	96	92	95	63	54	600	

- * 県消防学校での講習及び実習は、令和3年度をもって終了

- * 平成 27 年度以降に実施の救急救命士試験合格者は、静脈路確保及びブドウ糖溶液投与等に係る追加講習及び実習を受講する必要なし
- * 一般財団法人救急振興財団が行う指導救命士養成研修、処置拡大追加講習でも実施

(2) 運用実績

- ① 運用隊数・運用人数 202 隊 828 名
- ② 実施症例数

H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	合計
0	9	138	391	776	741	802	441	342	354	3,994

* 令和 5 年末までの実績

5 指導救命士

(1) 認定の状況

項目	内容
資格要件	(1) 救急救命士として、通算 5 年以上の実務経験を有する者 (2) 救急隊長として、通算 5 年以上の実務経験を有する者 (3) 特定行為について、一定の施行経験を有する者 (4) 医療機関において、必要とされる病院実習を受けている者 (5) 消防署内の現任教育、講習会等での教育指導、学会での発表など、教育指導や研究発表について指導・発表経験を有する者 (6) 必要な養成教育を受けている者 (7) 所属する消防本部（局）の消防長及び地域メディカルコントロール協議会（以下「地域協議会」という）長が推薦し、県協議会が認める者
認定者	令和 5 年度末 81 人

- * 令和 5 年末時点における養成教育機関は、救急救命九州研修所、若しくは消防大学校
- * 令和 4 年度及び令和 5 年度の認定証交付状況は資料 3 - 2 のとおり

気管挿管及び指導救急救命士等 認定証交付状況

○認定証交付状況 (人)

消防本部名	1. 気管挿管		2. ビデオ喉頭鏡		3. 指導救急救命士	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
下田消防本部	0	1	0	0	0	0
駿東伊豆消防本部	3	2	3	2	1	2
富士山南東消防本部	1	1	1	0	1	0
熱海市消防本部	1	1	1	1	0	0
富士市消防本部	3	4	2	4	1	1
富士宮市消防本部	2	1	2	2	0	0
御殿場・小山消防本部	1	1	1	2	1	0
静岡市消防局	8	5	9	6	2	2
志太消防本部	2	2	2	2	1	1
掛川市消防本部	2	2	2	2	1	0
御前崎市消防本部	1	2	2	1	0	0
菊川市消防本部	1	1	1	1	0	0
磐田市消防本部	1	2	4	2	0	1
袋井消防本部	2	0	1	2	0	1
浜松市消防局	10	5	10	5	2	2
湖西市消防本部	2	2	2	2	0	1
計	40	32	43	34	10	11

※令和5年度の認定証交付実績は、12月末まで

(参考: 病院実習受入状況)

(人)

医療機関名	気管挿管		ビデオ喉頭鏡	
	R4	R5	R4	R5
国際医療福祉大学熱海病院	1	1	1	1
伊東市民病院	2	1	2	0
順天堂大学静岡病院	0	4	0	0
静岡医療センター	3	0	3	3
有隣厚生会 富士病院	0	0	0	1
富士市立中央病院	1	2	0	2
富士脳障害研究所附属病院	4	3	4	4
静岡県立総合病院	5	4	0	0
清水厚生病院	0	0	4	4
島田市立総合医療センター	5	3	7	4
中東遠総合医療センター	4	4	4	4
磐田市立総合病院	1	2	4	2
聖隷浜松病院	12	7	12	7
浜松医科大学病院	2	1	2	2
計	40	32	43	34

救急安心センター事業（#7119）の実施について

<概 要>

○平成 29 年 9 月 5 日に、県消防長会から、救急安心センター事業#7119 について、県単位で実施することを前提に検討する旨の要望書が提出された。

○県民の安全・安心を確保するため、国の導入要請及び県消防長会の要望に呼応し、令和 6 年秋（10 月を予定）から県内全域で事業を実施すべく予算要求及び関係機関との調整を行っている。

○予算案については、2 月 13 日に公表予定。

<事業の概要（案）>

区 分	内 容		備 考
窓 口 名 称	救急安心電話相談（#7119）		
設 置 時 期	令和 6 年秋（10 月を予定）		
実 施 区 域	県内全域		
開 設 日 時	平日	18 時から翌 8 時	日曜日、祝日は終日
	土曜日	13 時から翌 8 時	
	日曜日、祝日	8 時から翌 8 時	
相 談 方 法	電話等		
配 置 人 員	医師（オンコール体制）、看護師 ほか		
相 談 窓 口 の 機 能	○医療機関の受診に関する助言 ○救急車要請の要否 ○医療機関案内 ○その他の相談窓口の紹介 ほか		○相談対応できない内容 ・セカンドオピニオン ・医薬品の副作用情報 ・医療機関の苦情 ほか

当作業部会意見と事業導入案の事業内容比較表

#7119の事業内容について、令和4年度に当作業部会の意見としてまとめた内容と、令和6年度に実施予定の内容の比較は以下のとおり。

区 分	当作業部会意見	令和6年度 事業内容（案）
運用形態	民間事業者へ委託	同 左
既存の電話相談との整理（導入目的整理）	<対象> 原則 15 歳以上 <主たる目的> ・軽症者搬送率の低下 ・潜在的な重症者の発見 ・住民の安心に寄与する行政サービス	同 左
窓口受付時間	24 時間（365 日）	平 日：18 時から翌 8 時 土 曜 日：13 時から翌 8 時 日曜日・祝日：8 時から翌 8 時 ※来年度以降、窓口の利用状況等を踏まえ、受付時間延長を検討
相談への対応	119 番通報が必要か否かの判断に限らず、医療機関案内や応急手当方法等についても対応	同 左
医療機関案内の方法	「医療ネット静岡」の情報を提供	同 左
緊急度判定プロトコール	※事業内容を整理した後、検討を開始	消防庁の「緊急度判定プロトコール Ver.3（電話相談）」に基づき実施
検証方法	検証委員会を立ち上げる ※事業内容を整理した後、検討を開始	・事後検証協議会を設置 ・運営基本方針、事業効果等検証、判定プロトコールの検証等について協議 ・委員選任については今後検討